

令和8年度 宮古・下閉伊モノづくりネットワーク 総会資料

令和8年7月

【事務局：岩手県沿岸広域振興局経営企画部宮古地域振興センター】

目 次

1 令和7年度 事業報告

- (1) 全体・共通事業-----1P
- (2) 部会事業-----3P
 - ア 工業部会
 - イ 水産部会
 - ウ 農産部会
 - エ 林産部会
- (3) 部局横断組織-----7P
 - ア 人材育成専門部会
 - イ 食産業振興会議

2 令和8年度 事業計画

- (1) 全体・共通事業-----12P
- (2) 部会事業-----13P
 - ア 工業部会
 - イ 水産部会
 - ウ 農産部会
 - エ 林産部会
- (3) 部局横断組織-----15P
 - ア 人材育成専門部会
 - イ 食産業振興会議

【令和7年度 事業報告】

【全体・共通事業】

(1) 宮古・下閉伊モノづくりネットワーク総会

日時：令和7年6月10日（火）14：00～16：15

場所：宮古ホテル沢田屋

内容：令和6年度事業報告

令和7年度事業計画

会員企業への情報提供①：株式会社ジェイエア 事業企画部

青木 達郎 部長

会員企業への情報提供②：岩手県立大学宮古短期大学部

佐々木 麻美 就職支援専門員

会員企業への情報提供③：公益財団法人いわて産業振興センター

岩手県プロフェッショナル人材戦略拠点

関畑 宏行 サブマネージャー



(2) 各種事業・イベントとの共催・後援

各種事業を後援した。

- ① 第17回宮古地区学生研究・意見発表会（令和7年12月13日（土）／宮古市）
- ② 令和7年度ものづくり体験教室（令和7年12月25日（木）／宮古高等技術専門学校）
- ③ みやこテクノフェスタ（令和8年2月21日（土）／宮古市）

(3) 情報発信

会員に対して、イベントや支援制度等に関する情報を掲載したメールマガジンを18件配信した。

【令和7年度 事業報告】

【工業部会】

(1) 産業支援コーディネート事業（通年）

沿岸広域振興局宮古地域振興センターの産業支援コーディネーターによる企業及び学校訪問を通じてネットワーク事業の周知等を図ったほか、各種セミナー等の情報の収集及び提供を通じて企業及び関係機関との連携支援を行った。

企業及び学校等訪問件数：159 件

(2) 産学官連携推進事業

新技術の研究開発や新事業創出を図り、地域産業の活性化及び高度化することを目指し、県内の産・学・官との連携に必要な情報の提供を行った。

(3) 人材育成専門部会等との連携事業

ア モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第29期）

時期：令和7年6月26日（木）～8月19日（火）全6回9講座

受講者数：20 人

イ 経営者勉強会

（ア）第1回

時期：令和7年12月15日（月）

講座

テーマ：「世代を超えて学び合う職場づくり～“採用難”を“育成チャンス”に変える経営戦略～」

講師：CO. CORO サポート

代表 藤村 七美 様

情報提供：管内企業と管内高等学校との情報交換

（参加高等学校：宮古高等学校（定時制・通信制）、

宮古商工高等学校（商業校舎・工業校舎）、宮古北高等学校）

（イ）第2回

時期：令和8年2月26日（木）

講座

テーマ：「利益」「人材」「経営計画」を繋ぐ～次世代へつなぐ持続可能な経営の設計図～」

「経営の課題解決を加速する「いわてよろず支援拠点」の活用術」

講師：Kura コンサルティング株式会社

代表取締役 松田 径之 様

【令和7年度 事業報告】

【水産部会】

「宮古の真鱈」を中心とした高鮮度・高品質な水産物について、「宮古の水産物ブランド化推進事業」としてブランド化、消費拡大及び観光資源化の取組を実施。

(1) 宮古の真鱈グルメフェアの広域開催（地域経営推進費事業を活用）

盛岡市・宮古市等の飲食店・鮮魚販売店等 57 店舗において、各店独自の真鱈料理を提供販売するフェアを開催。（盛岡市・宮古市等計 6 市町村、12/1～1/31）

また、フェア開催に合わせて関係者及び報道機関向けに「オープニングセレモニー」を開催し、宣伝周知。（宮古市、11/26）

(2) 宮古真鱈まっりの開催

宮古市主催の「宮古真鱈まつり」の運営を支援。当日は天候にも恵まれ盛況なイベントとなり、市内外から約 5 千人と多数が来場。（宮古市、1/25）

(3) 宮古・下閉伊「食財キングダム」value up 事業

農産部会・林産部会と共催し、事業を実施。

詳細は、農産部会を参照。

【令和7年度 事業報告】

【農産部会】

- 宮古地域産地直売ブースト事業（地域経営推進費事業を活用）
産直の集客力及び売上の向上に向け、管内産直を対象に以下の取組を実施。
 - (1) 売上データの活用による販売動向に合わせた商品確保体制の確立
 - ・宮古地域産直経営改善研修会の開催（7/23）
 - ・専門家派遣による個別支援（山田町、7/24・9/25）
 - ・岩手県立大学宮古短期大学部との協働研究（通年）
 - (2) 農産物の訴求力向上と情報発信
 - ・「みえるらべる」の表示のための温室効果ガス削減効果等の算定支援（宮古市、4～5月）
（岩泉町、6～9月）
 - ・SNS等の活用に向けた研修会への参加誘導（11/17・2/6・2/9）
- 宮古・下閉伊「食財キングダム」value up 事業（地域経営推進費事業を活用）
宮古・下閉伊地域の農林水産物をPRするため、管内のホテル・飲食店等が地域の“いち推し食材”を使ったメニューを提供するフェアを開催。【水産部会・林産部会との共催】
 - (1) 店舗募集
管内においてフェア参加を希望するホテル・飲食店等の募集（5/30～6/20）
 - (2) ミニ商談会の開催
参加店舗を対象とした生産者・販売事業者等とのマッチング（7/31）
 - (3) フェアの開催及び消費者へのPR活動
 - ・管内4市町村の計21店舗が参加する「宮古・下閉伊『食財キングダム』いち推しグルメフェア」の開催（10/1～30）
 - ・フェアと連動した「いち推し食材プレゼントキャンペーン」の実施とSNS・県公式Youtubeチャンネルによる食材PR（フェア実施中及び前後の期間）

【令和7年度 事業報告】

【林産部会】

林野火災被害木の活用などを目的に、地域の資源を活用するための取組を実施。

(1) 地域材の利用促進に向けた取組

ウッドショック後の木材需給状況等について、管内関係者から情報収集及び情報共有（随時）。

(2) 森林・環境エネルギー産業研究会

宮古市内の企業の協力を得て、令和6年に発生した林野火災被害木の活用に係る現地検討会を開催。被害木をチップに加工することにより、土木工事で使用される資材などに活用する方法について検討。（宮古市、12/19）

(3) 宮古・下閉伊「食財キングダム」value up 事業

農産部会・水産部会と共催し、事業を実施。

詳細は、農産部会を参照。

【令和7年度 事業報告】

【人材育成専門部会】

(1) モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第29期）

新採用から概ね5年程度までの従業員を対象に社会人としての教養等を習得させ、産業人材を育成することにより、宮古地域の企業に人材が定着することを目的とした研修会を開催した。

主催：宮古・下閉伊モノづくりネットワーク人材育成専門部会

共催：沿岸広域振興局、県立宮古高等技術専門校、宮古金型研究会

後援：宮古市

時期：令和7年6月26日(木)～8月19日(火) 全6回9講座

場所：宮古地区合同庁舎3階大会議室及び第2会議室

受講者数：20名

内容：①いろいろな仕事を知る、②コミュニケーション、③社会人の教養、④ものづくりの知識を柱に次のテーマで開催。

回	期 日	テーマ	柱	講 師
1	6月26日 (木)	開講式		人材育成専門部会会長 株式会社中村電子 代表取締役社長 芳賀 吉政 氏
		企業人としての心構え	③ ④	東北ヒロセ電機株式会社 取締役宮古工場長 畠山 雄次 氏
		心と体の健康づくり	③	宮古保健所
2	7月1日 (火)	職場で求められるコミュニケーションスキル	②	CO. CORO サポート 代表 藤村 七美 氏
3	7月10日 (木)	三陸鉄道と観光から考える地域活性化について	①	一般社団法人宮古観光文化交流協会 事務局長 赤沼 喜典 氏
		水産加工業の現状と課題	①	株式会社佐幸商店 代表取締役 佐々木 博基 氏
4	7月17日 (木)	3S活動で人材育成	④	有限会社菊地電子工業 代表取締役 菊地 丙午 氏
		身近な消費者トラブル	① ③	宮古市消費生活センター
5	7月25日 (金)	一般救急とAED	③	宮古地区広域行政組合消防本部
6	8月19日 (火)	宮古市のまちづくり	①	宮古市長（代理：副市長 桐田 教男 氏）
		閉講式、修了証書授与、講評		人材育成専門部会会長 株式会社中村電子 代表取締役社長 芳賀 吉政 氏

(2) 経営者勉強会

働き方改革や世界経済情勢、更に新型コロナウイルス感染症拡大による影響など、会社を取り巻く環境が変化している中で、これまでの事業運営や人材育成等に関する経験や知識を伝え、経営活動への気づきや学びに繋げることを目的として、経営者等を対象とした勉強会を開催した。

(ア) 第1回

日時：令和7年12月15日（月）13：30～15：30

場所：宮古地区合同庁舎

参加者：12名

内容：

テーマ：「世代を超えて学び合う職場づくり～“採用難”を“育成チャンス”に変える経営戦略～」

講師：CO.CORO サポート

代表 藤村 七美 様



情報提供：管内企業と管内高等学校との情報交換

(参加高等学校：宮古高等学校（定時制・通信制）、
宮古商工高等学校、(商業校舎・工業校舎)、宮古北高等学校)



(イ)第2回

日時：令和8年2月26日（木）13：30～16：00

場所：シートピアなあと 2階研修ホール

参加者：20名

内容：

第1部

テーマ：「利益」「人材」「経営計画」を繋ぐ～次世代へつなぐ持続可能な経営の設計図～」

講師：Kura コンサルティング株式会社
代表取締役 松田 径之 氏

第2部

テーマ：「経営の課題解決を加速する「いわてよろず支援拠点」の活用術」

講師：Kura コンサルティング株式会社
代表取締役 松田 径之 氏



【令和7年度 事業報告】

【食産業振興会議】

(1) 食産業事業者総合支援事業

新商品開発や販路拡大開拓に意欲のある宮古・下閉伊地域の食産業事業者を支援することにより、地域の優れた食資源を活用した商品等の認知度向上及び消費拡大等を促進することを目的とした支援を実施した。

(2) 食産業支援機関との連携（随時）

市町村、金融機関、商工会議所及び大学等の地域の食産業支援機関との連携を図るとともに、セミナーやイベント等の情報を掲載したメールマガジンを15件配信した。

【令和8年度 事業計画】

【全体・共通事業】

(1) 方針

東日本大震災津波から 15 年が経過し、復興に向けた取組が進められてきたところであるが、人口減少に歯止めがかからず、これに伴い、事業者にとって人材の確保が一層困難な状況にある。さらに、中東情勢の影響によるエネルギー・原材料価格の高騰等により、経営環境の厳しさも増しているところである。

このような状況の中、管内における雇用創出や地方への新しいひとの流れをつくり、地方創生に繋げていくため、経営革新、販路拡大、新技術開発、人材育成等地域産業の安定的・持続的な経営基盤づくりに取り組んでいく。

(2) 宮古・下閉伊モノづくりネットワーク総会

日時：令和8年7月6日（月）14：00～16：00

場所：宮古ホテル沢田屋

内容：令和7年度事業報告

令和8年度事業計画

会員企業への情報提供①：岩手県立大学宮古短期大学部

会員企業への情報提供②：公益財団法人いわて産業振興センター

(3) 各種事業・イベントとの共催・後援

各種事業・イベント等との共催及び後援等を予定。

(4) 情報発信

会員に対して、イベントや支援制度等に関する情報を掲載したメールマガジンを配信する。

【令和8年度 事業計画】

【工業部会】

(1) 産業支援コーディネート事業（通年）

沿岸広域振興局宮古地域振興センターの産業支援コーディネーターによる企業及び学校訪問を通じてネットワーク事業の周知等を図るほか、各種セミナー等の情報の収集及び提供を通じて企業及び関係機関との連携支援を行う。

(2) 産学官連携推進事業

新技術の研究開発や新事業創出を図り、地域産業の活性化及び高度化することを目指し、県内の産・学・官と連携しながら必要な情報共有、情報提供を行う。

(3) 人材育成専門部会等との連携事業

ア モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第30期）

時期：令和8年7月17日（金）～8月25日（火）全6回9講座

イ 経営者勉強会

2回開催予定

時期：令和8年9月（予定）

令和8年12月（予定） ※ 昨年度より早い時期の開催を検討。

【令和8年度 事業計画】

【水産部会、農林部会及び林産部会】

農林水産業に係る各部会が連携し、首都圏の大学とのネットワーク形成による地域課題解決に向けた取組を実施。

(1) 木質バイオマスの地域循環の仕組みづくり

木質ボイラー導入による脱炭素化を推進するため、導入する木質バイオマスボイラーについて、経済性に優れた機器の選定・検討及び提案を実施。(6～12月)

(2) 農林水産業の地域課題解決に向けたワークショップ

市町村と首都圏の大学が連携し、地域住民等との対話を通じて、地域課題の解決に向けた方策の提案及びその実現に向けた企画検討等を実施。(7～12月)

【令和8年度 事業計画】

【人材育成専門部会】

(1) モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第30期）

新採用から概ね5年程度までの従業員を対象に社会人としての教養等を習得させ、産業人材を育成することにより、宮古地域の企業に人材が定着することを目的とする。

主催：宮古・下閉伊モノづくりネットワーク人材育成専門部会

共催：沿岸広域振興局、県立宮古高等技術専門校、宮古金型研究会

後援：宮古市

期間：令和8年7月17日（金）～8月25日（火）全6回9講座（予定）

定員：25名程度

内容：①いろいろな仕事を知る、②コミュニケーション、③社会人の教養、④ものづくりの知識を柱に開催する。

別紙（16P）のとおり。

(2) 経営者勉強会

働き方改革や世界経済情勢、新型コロナウイルス感染症やエネルギー・原材料価格高騰の影響など、会社を取り巻く環境が変化している中で、これまでの事業運営や人材育成等に関する経験や知識を伝え、経営活動への気づきや学びに繋げることを目的とする。

今年度においても、昨年度同様2回開催とするもの。

○ 第1回

時期：令和8年9月（予定）

場所：未定

○ 第2回

時期：令和8年12月（予定）

モノづくりの出来る人づくり寺子屋（第30期）開催要領

1 目的

新採用から採用後概ね5年程度までの従業員を対象に、社会人としての教養等を習得させ、産業人材を育成することにより、宮古地域の企業に人材が定着することを目的とする。

2 主催等

- (1) 主催：宮古・下閉伊モノづくりネットワーク人材育成専門部会
- (2) 共催：沿岸広域振興局、県立宮古高等技術専門校、宮古金型研究会
- (3) 後援：宮古市

3 期 間：令和8年7月17日(金)～8月25日(火)／全6回、9講座

4 場 所：宮古地区合同庁舎3階大会議室及び第2会議室（宮古市五月町1-20）

5 定 員：25名

6 研修内容

次の4つの柱に着目した次の表のテーマにより、各講師から講義をしていただきます。

①いろいろな仕事を知る、②コミュニケーション、③社会人の教養、④ものづくりの知識

回	期 日	テーマ	柱	講 師
1	7月17日 (金)	開講式		人材育成専門部会会長
		企業人としての心構え	③ ④	東北ヒロセ電機株式会社 取締役宮古工場長 畠山 雄次 氏
2	7月23日 (木)	職場で求められるコミュニケーションスキル	②	CO. CORO サポート 代表 藤村 七美 氏
3	7月29日 (水)	三陸鉄道と観光から考える地域活性化について	①	一般社団法人宮古観光文化交流協会 事務局長 赤沼 喜典 氏
		身近な消費者トラブル	① ③	宮古市消費生活センター
4	8月5日 (水)	(仮)新 NISA で始めるお金の育て方	③	岩手銀行宮古中央支店
		3 S活動で人材育成	④	有限会社菊地電子工業 代表取締役 菊地 丙午 氏
5	8月20日 (木)	一般救急と AED	③	宮古地区広域行政組合消防本部
6	8月25日 (火)	心と体の健康づくり	③	宮古保健所
		宮古市のまちづくり	①	宮古市長
		閉講式、修了証書授与、講評		人材育成専門部会会長

※日程やテーマは変更になる場合があります。

7 研修時間

14：30～17：00（16：40～17：00 は提出レポート作成）

※ 8/20（木）、8/25（金）の研修時間は、14：00～17：00 までとなります。

8 受講料

6,000 円（講師謝金、旅費、消耗品費等に充当）

【令和8年度 事業計画】

【食産業振興会議】

(1) 商品開発及び販路開拓支援

管内食品製造業者等の商品開発・改良、販路拡大の取組を支援するため、地域の食材等を活用した商品開発等を行う事業者を支援する。

(2) 食産業支援機関との連携（随時）

市町村、金融機関、商工会議所等の地域の食産業支援機関との連携を図るとともに、セミナーやイベント等の情報を掲載したメールマガジンを配信する。